

1782
A(0418)

関節痛・肩こり・腰痛・筋肉痛の症状の緩和に

コンドロチンプラス錠

コンドロイチン配合ビタミン剤
塩酸グルコサミン配合（緩衝剤）●ビタミンB₁主製剤●

【特徴】

コンドロチンプラス錠は、コンドロイチン・ビタミンB群・ビタミンEをバランス良く配合した、飲みやすい錠剤です。

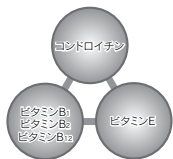
繰り返すふしぶしの痛みや、筋肉の疲労感、手足のしびれ、眼精疲労に各成分が相乗効果を発揮し、それぞれの症状を緩和します。

ビタミンB₁₂を配合しているため、ピリピリする神経の痛みにも効果的です。

●関節の動きを助けるコンドロイチン：コンドロイチン硫酸エステルナトリウムが関節の軟骨部分に弾力性や保湿性を与え、スムーズな動きを助けて、関節の痛みや違和感をやわらげます。

●ビタミンB₁、B₁₂が、筋肉・神経系に作用：ビタミンB₁誘導体とビタミンB₁₂が筋肉の疲労、神経の動きを助け、傷ついた末梢神経を修復、疲れを癒して痛みを緩和します。●疲れた体にビタミンB₂：体内のエネルギー産生を助けます。ビタミンB₁と協力して脂質、タンパク質、炭水化物をエネルギーに変換する際に必要な栄養素で、疲れた体にすぐれた効果をもたらします。

●血管系に作用するビタミンE：抗酸化作用により血管の老化を防ぎ、血液の流れを良くし末梢血管の血行障害を改善、神経や筋肉に酸素と栄養を届けるのを助け、つらい症状や疲れをほぐしてくれます。



⚠ 使用上の注意

相談すること



1. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
消化器	吐き気・嘔吐

2. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

軟便、下痢

3. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

■ 効能又は効果

次の諸症状の緩和：神経痛、筋肉痛・関節痛（腰痛、肩こり、五十肩など）、手足のしびれ、便秘、眼精疲労

脚気

「ただし、これらの症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師又は薬剤師に相談すること。」

次の場合のビタミンB₁の補給：肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時

■ 用法・用量

次の1回量を1日3回朝昼晩服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人（15歳以上）	2～3錠	3回
11歳以上15歳未満	1～2錠	
11歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 本剤は、用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

■ 成分及び分量 1日量（9錠中）

成 分	分 量
ベンフォチアミン（ビタミンB ₁ 誘導体）	138.3mg
コハク酸d- α -トコフェロール（ビタミンE）	100.0mg
リボフラビン酪酸エステル（ビタミンB ₂ ）	12.0mg
シアノコバラミン（ビタミンB ₁₂ ）	60.0 μ g
コンドロイチン硫酸エステルナトリウム	800.0mg

添加物として塩酸グルコサミン、D-マンニトール、セルロース、ステアリン酸Mg、その他3成分を含有する。

（成分に関連する注意）

- * 本剤の服用により尿が黄色くなることがあります。リボフラビン酪酸エステル（ビタミンB₂）によるものですから心配ありません。
- * 本剤は淡黄色の素錠で淡赤色～赤色の斑点があります。この斑点は有効成分のシアノコバラミン（ビタミンB₁₂）によるものです。

■ 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わる）
- (4) 使用期限（外箱・ラベルに記載）を過ぎた製品は服用しないでください。
なお、使用期限内であっても、一度開封した後はなるべく早くご使用ください。
- (5) 湿気により、変色など品質に影響を与える場合がありますので、下記の事にご注意ください。

○服用のつどキャップをよくしめてください。

○ぬれた手で錠剤に触れたり、水滴などを誤ってビンに入れられないでください。

○開封後は、湿気を含むおそれがありますので、ビンの中の上部にある透明な詰め物を捨ててください。（輸送時、錠剤の破損を防止するために入れてあります）

